

# ● 町民の広場 ●

## ぼくの夢・私の夢

### 『最高学年として』



中沖小学校 6年  
稲付 早希

私が六年生になってもう少しで四月になります。今年初めての複式学級になり、いろいろな不安がありました。「勉強についていけないのか。」など考えたことがよくありました。しかし、実際に複式学級を体験してみると、テストの点数は逆にながっていきばかりでおどろきました。他にも休み時間には、今まで少なかった男の子とはしゃいでいる方が楽しいので、今の経験を貴重に思えてきました。

一学期最初の目標は、社会で難しそうな歴史についてくわしく覚える、でした。しかし、勉強しているうちに社会が楽しくなってきた、すっかり好きになりました。今の苦手な教科は理科です。理科では、これから植物のからだのはたらきについて学習していきます。とっても楽しそうな実験があります。

す。なので、実験方法をしっかりと覚えて、テストでは八十点以上をとりたいです。

また、今年は、運営・放送委員会に入って、学校を動かす役になりました。今年の学校の児童会テーマは、希望と夢とやさしさあふれる中沖っ子です。このテーマにそって活動を決めました。希望と夢の活動では、昼休みにリクエスト曲を流す、あいさつ運動をする、昼休みにみんなで遊ぶ日をする、ことにしました。やさしさの活動では、仲良しカードをします。この四つの取り組みで中沖小をもっと明るくしたいです。

また、今年は、東日本大震災がありました。そこで委員会の活動でもぼん活動をして、東北の人々を少しでも助けてあげたいです。今の生活を大事にしたいと思います。

この一年間は私たち最高学年のがんばりにかかっています。今年一年も明るく楽しい中沖小学校になるように自分のできることをがんばりたいです。

### 『わたしの夢』



中沖小学校 6年  
平山 瑠峰

「小学校の先生になる。」これが私の夢です。小学校の先生になりたいと思ったのは三年生のころでした。

担任の先生を見て、「みんなに教えるのって大変なんだろうか...」「分かってもらえそううれしいうらやうな。」と思い始めたのがきっかけです。もともと私は、人に勉強を教えるのが好きです。分かってもらえそううれしいうらやうな、「ありがとう。」と言われると、また教えたくなります。でも、人に教えるのは大変です。答えを言ってしまうのはいいけません。分かってもらえなくても分かってもらえないことがありません。その時に、思わず答えを言ってしまうことがあります。まだまだ、教える方も分からないのでうまく伝わらないことがあります。これから、勉強してみんなにうまく伝えられるようにしたいです。

そのために、これからのテストで百点を取ってこれまでに習ったことをたくさん復習したいと思います。そして、今からいろんなことをたくさん勉強して、大人になってその夢をかなえたいと思います。まずは今までよりもっと成績をのばしていきたいです。そして、将来は、みんなと休み時間などにドッジボールなどで遊んで、大人気の優いでも時にはきびしい先生になりたいです。

## 編集後記

3月に発生した巨大地震「東日本大震災」は、東北・関東地方を中心に広い範囲で、地震・津波により、多数の死傷者や行方不明者をもたらした。あらゆる住民生活に壊滅的打撃を与え、更に福島原子力発電所の施設が大きな被害を受け、放射能汚染により周辺住民は避難を余儀なくされ、農産物等も多大な被害を受けております。広がる放射能汚染、改めて放射能の恐ろしさを知らされたところです。

湾岸部にある我が町も、日向灘の海溝を抱えており、津波被害を想定した防災計画の見直しが急がれるところです。

今年には特に節電が叫ばれ、暑い夏が続いております。すでに全国的に熱中症が多発しておりますが、お身体御自愛ください。

今後とも皆様に親しまれる議会だよりをお届けできるよう、広報委員一同頑張っております。

(広報編集副委員長 宮本 昭一)

発行責任者 大崎町議会議長  
中倉 毅